

有害事象チェックシート

～Grade評価とその対応～

(ver.1.2)

岐阜県薬剤師会・岐阜県病院薬剤師会・岐阜市薬剤師会 作成

CTCAEのGradeの定義と解釈

Grade3のときは、速やかに病院に連絡する

| グレード分類 | 重症度の説明 | 対応方法 |
|---------------------|--|-------------------------|
| 1 Grade 1 | 軽度の症状がある。 治療を要さない。 | |
| 2 Grade 2 | 最小限/局所的/非侵襲的治療を要する。 年齢相応の身の回り以外の日常生活動作*1の制限 | 介入が必要 |
| 3 Grade 3 | 重症または医学的に重大であるが、ただちに生命を脅かすものではない。 入院または入院期間の延長を要する。 身の回りの日常生活動作*2の制限 | 病院への連絡 受診が必要 |
| 4 Grade 4 | 生命を脅かす。 緊急処置を要する。 | 緊急受診が必要 |
| 5 Grade 5 | 副作用による死亡 | |

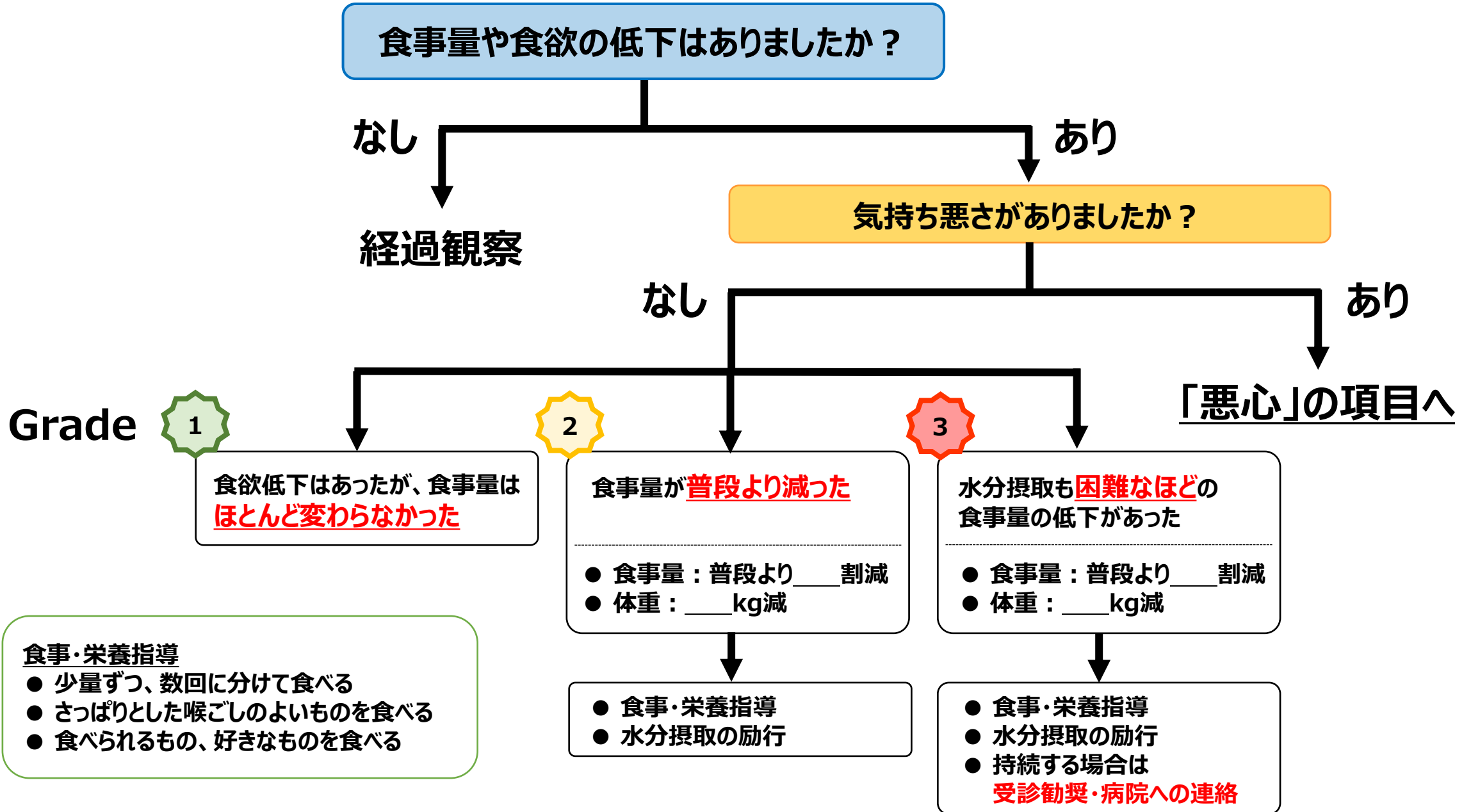
***1 身の回り以外の日常生活動作 (instrumental ADL)**

食事の準備、日用品や衣服の買い物、電話の使用、金銭の管理など。

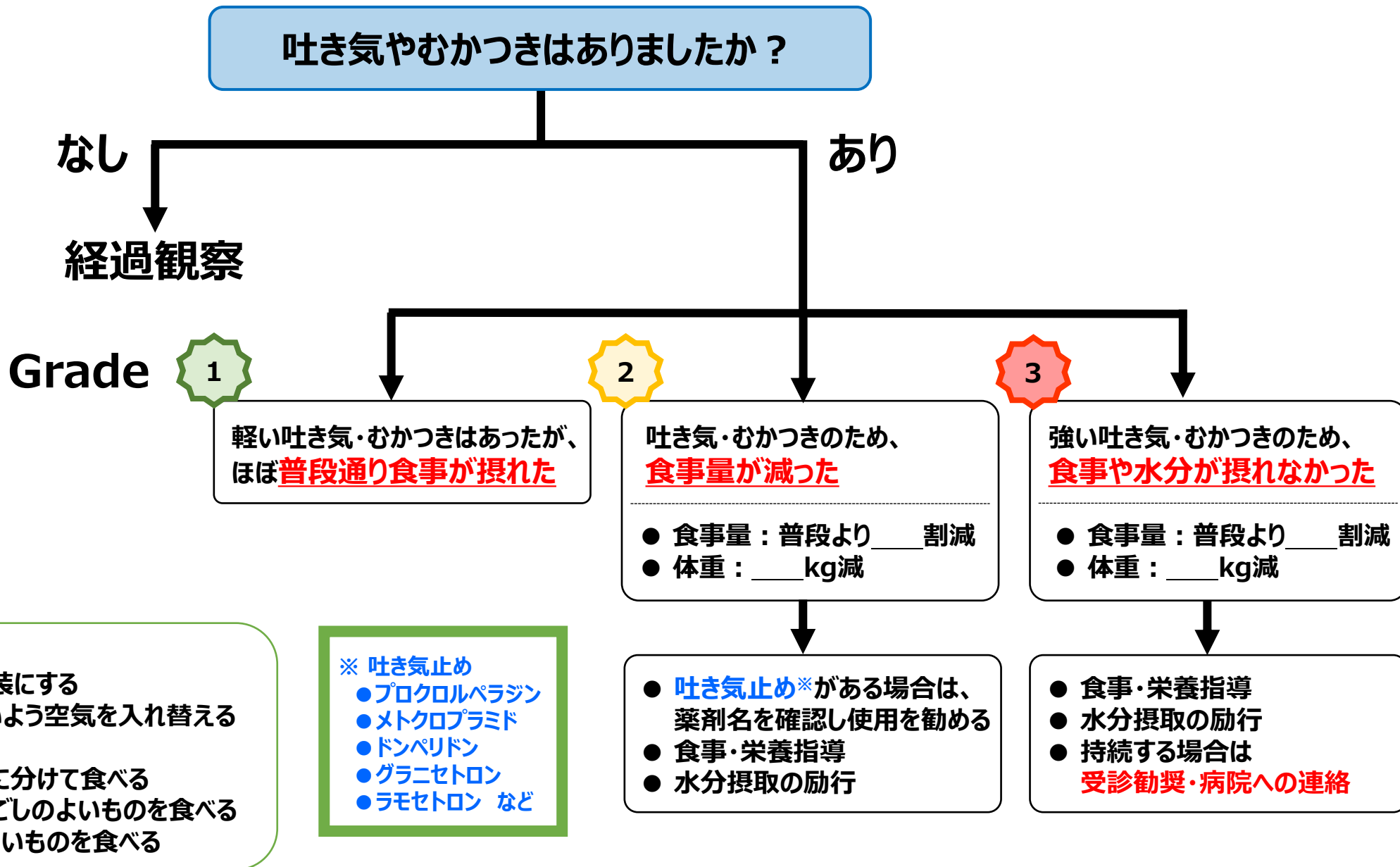
***2 身の回りの日常生活動作 (self care ADL)**

入浴、着衣・脱衣、食事の摂取、トイレの使用、薬の内服が可能で、寝たきりではない状態。

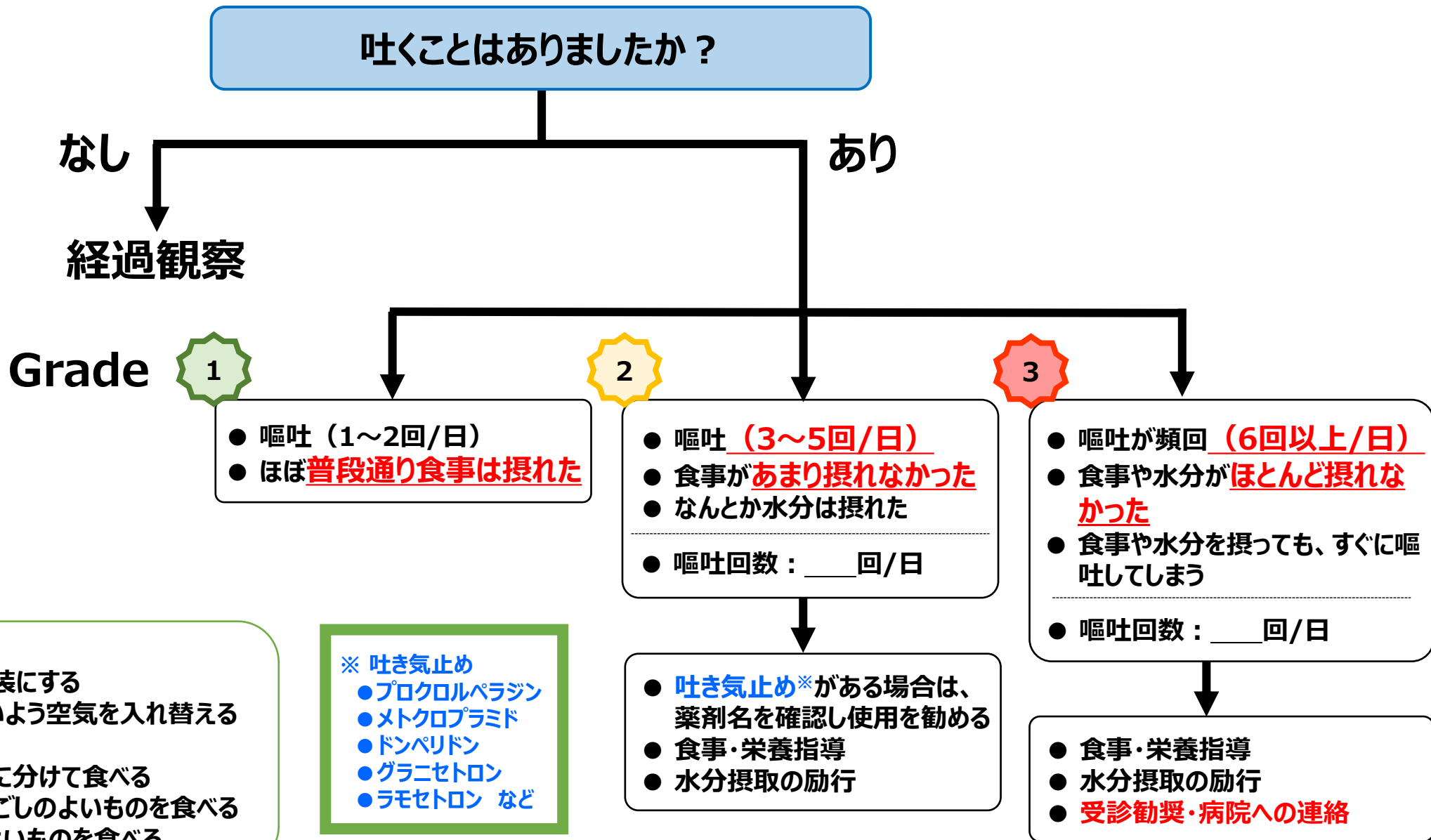
□ 食欲不振



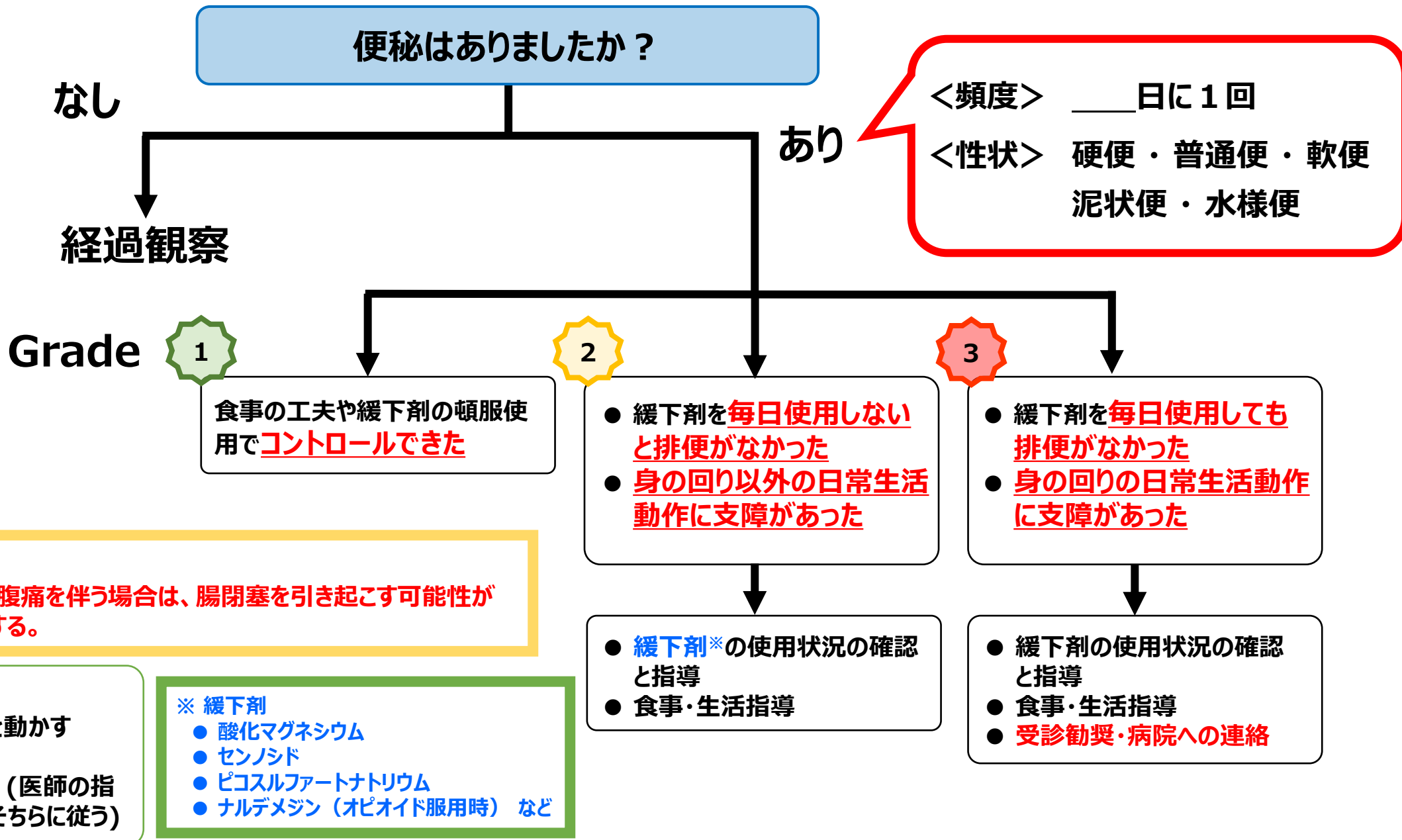
□ 悪心



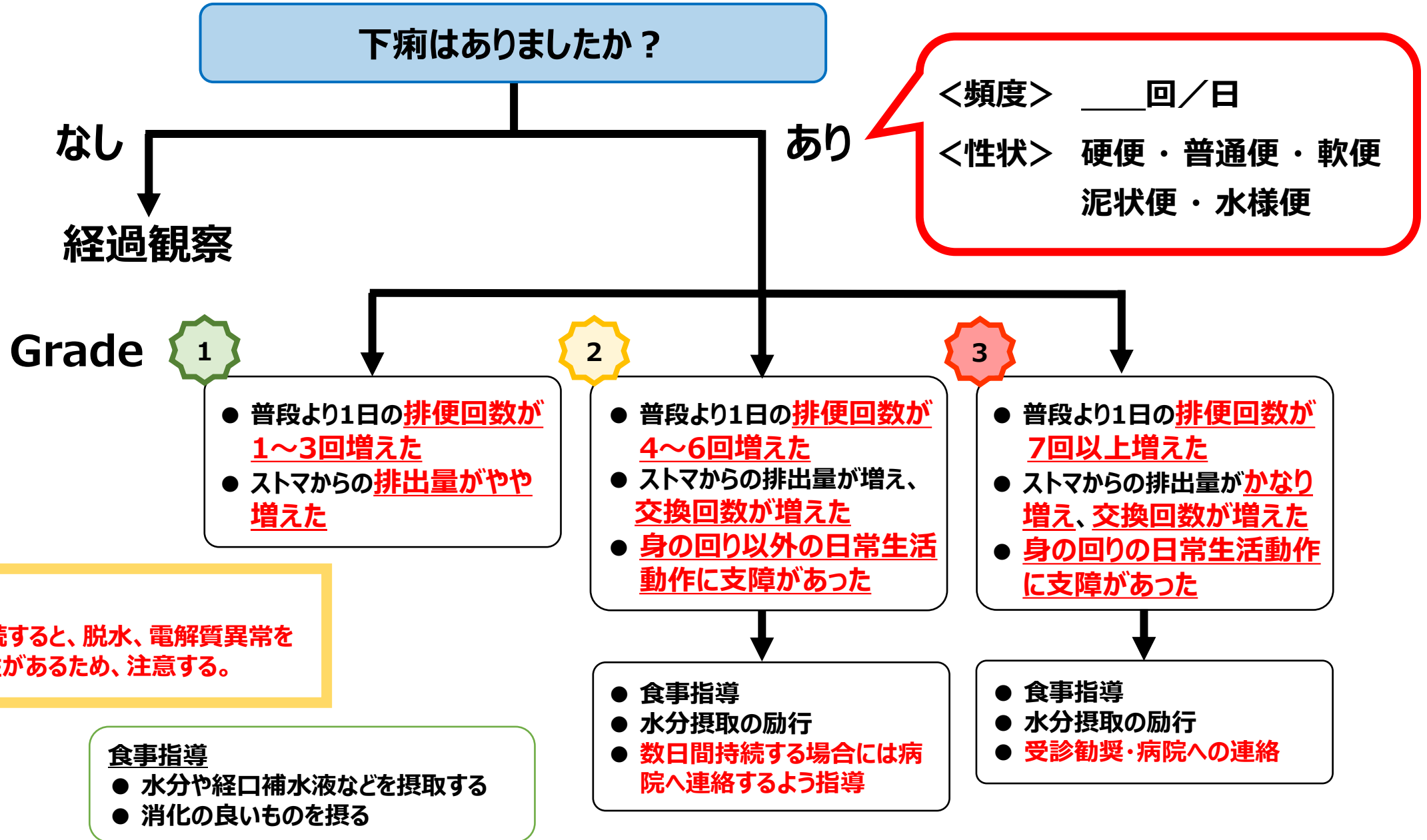
□ 嘔吐



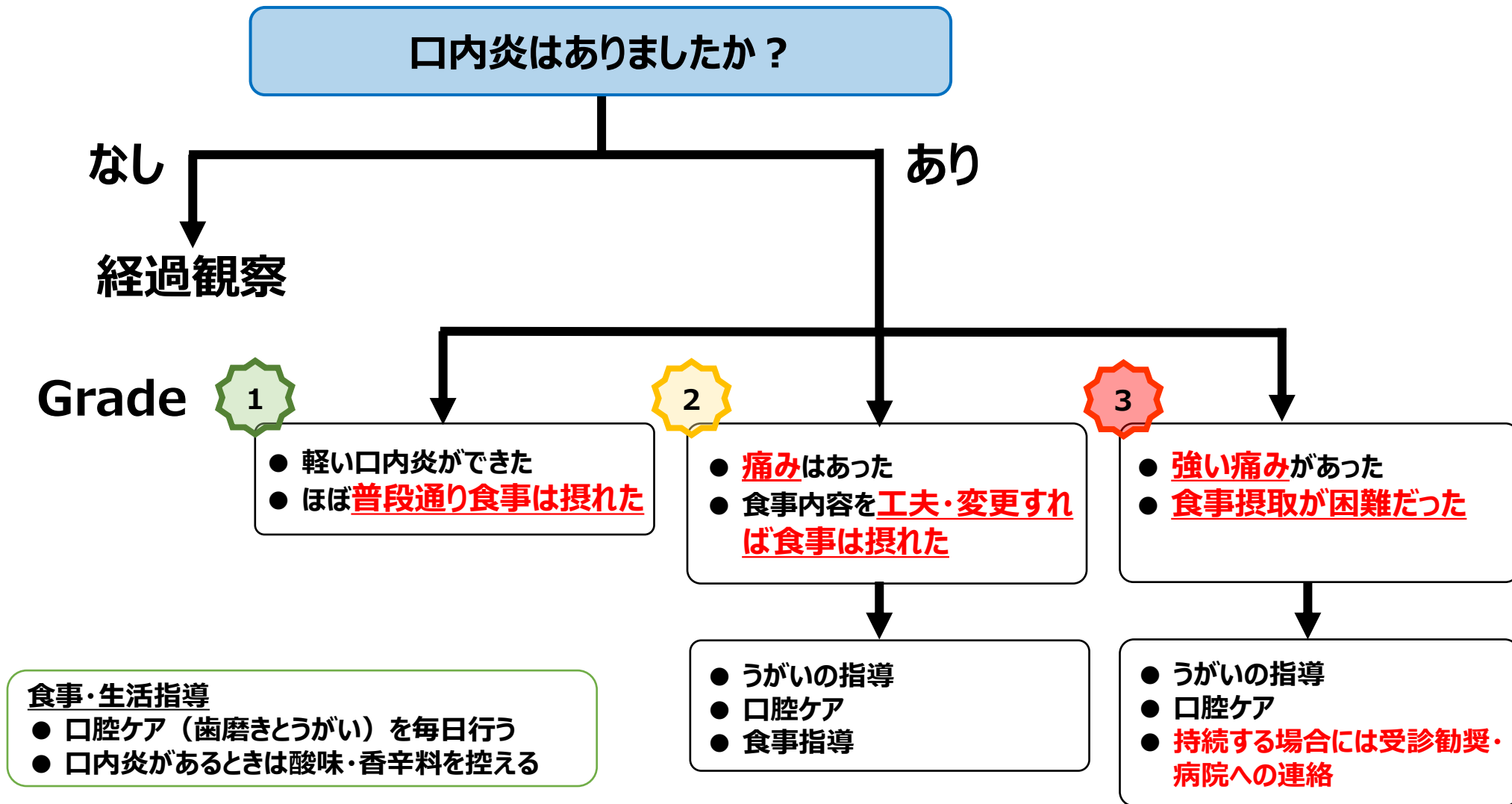
□ 便秘



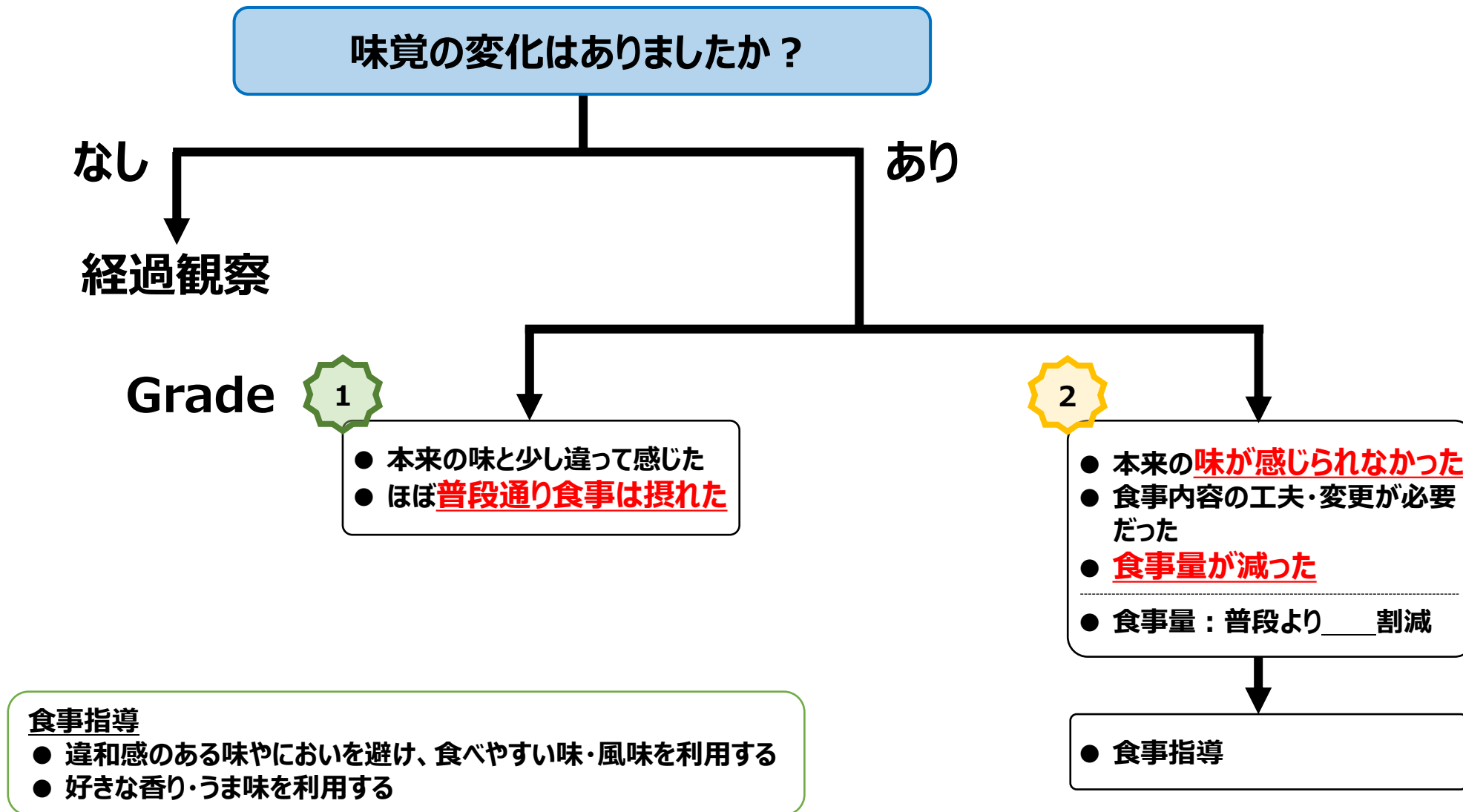
□ 下痢



□ 口内炎



□ 味覚異常



□ 末梢神経障害

手足のしびれや動かしにくさがありましたか？

なし

経過観察

あり

<部位> 手（指先・手のひら・手首）
足（指先・手のひら・足首）
その他（ ）

<性状> ピリピリ・感覚鈍麻・痛み

<症状の度合> NRS :

Grade

1

- 手や足に**違和感**があった
- 普段の**日常生活には支障はなかった**

2

- 手や足に**痺れ**があった
- 症状により、**身の回り以外の日常生活動作に支障があった**（趣味や外出など）

- 生活指導

3

- 手や足に**強い痺れ**があった
- 症状により、**身の回りの日常生活動作に支障があった**（ボタンがかけられない、箸が使えないなど）

- 生活指導
- 症状に応じて**受診勧奨・病院への連絡**

生活指導

- 転倒・けがに気をつける
- やけどに気をつける

【参考】NRS (Numeric Rating Scale)

痛みを「0：痛みなし」から「10：これ以上ない痛み（これまで経験した強い痛み）」までの11段階に分け、痛みの程度を数字で選択して患者が自己評価する。



【参考】末梢神経症状の日常生活動作の定義

| 身の回り以外の日常生活動作 (Grade2) | 身の回りの日常生活動作 (Grade3) |
|--|---|
| <ul style="list-style-type: none"> ・携帯電話でメールを打つ ・重い荷物を持つ ・本や雑誌をめくる ・運動 ・楽器の演奏 | <ul style="list-style-type: none"> ・ボタンの開け閉め ・箸を使っての食事 ・階段の昇降 ・靴を履く ・物をつかむ |

※ 患者の生活スタイルに合わせて、衣食住および労働に直結するかどうかを考える。
例えば、患者がミュージシャンであった場合、「楽器の演奏」は衣食住および労働に直結すると考える。

□ 手足症候群

手足の皮膚にヒリヒリ感や腫れ、赤みなどの症状はありましたか？

<部位> 手（指先・手のひら・手首）
足（指先・手のひら・足首）
その他（ ）

<性状> ヒリヒリ・腫れ・赤み・亀裂
水疱・角質化・皮膚剥離

ポイント
抗がん剤内服を継続することで症状がさらに悪化することがあり、早期に休薬が必要な場合もあるため注意する。

なし
経過観察

あり

Grade

1

- 痛みは**なかった**（知覚過敏、紅斑、チクチク感など）
- **普段の生活に支障はなかった**

- **保湿剤**でのケアの継続
 - ・ハルリン類似物質含有製剤（ヒルドイド等）
 - ・尿素含有製剤（ウルパール等）
 - ・ビタミン含有軟膏（ザーネ、Iハテ等）
 - ・ゲアイズイン含有軟膏
 - ・白色ワセリン
- ステロイドの処方があれば使用を指導

2

- **痛みがあった**（腫脹、角化など）
- **身の回り以外の日常生活動作に支障があった**（本をめくる、長距離歩行など）

- 保湿剤およびステロイド使用の指導
- 使用中のステロイドで効果不十分な場合はランクアップの提案
- 生活指導
- **症状に応じて病院への連絡**

3

- **強い痛みがあった**（亀裂、潰瘍など）
- **身の回りの日常生活動作に支障があった**（歩行、家事など）

- 保湿剤およびステロイド使用の指導、ステロイドのランクアップの提案
- 生活指導
- **症状に応じて受診勧奨・病院への連絡**

生活指導

- 自分の手や足をよく観察する
- こまめに保湿剤を塗る
 - 手：手洗い・水仕事の後は必ず塗る
 - 足：1日5回を目標に、少なくとも1日2～3回（朝、夕、入浴後or就寝前等）は塗る
- ※ 手足とも就寝前は若干多めに塗り、手袋・靴下を着用すると効果的
- 長時間または繰り返し同じ場所に圧力がかからないようにする
 - 例）締め付けの強い靴や靴下、爪先へ負担がかかる靴は避ける、長時間歩行は避けるなど
- 熱い風呂やシャワーを避ける

□ ざ瘡様皮疹

ニキビのような発疹はありましたか？

なし

経過観察

あり

<掻痒> あり・なし

<部位>

顔面・頭部・胸部・背部

その他 ()

Grade

1

- **気になる程度**だった
- 部分的な症状の出現があった

2

- 部分的な症状があった
- **容姿・外見に影響**があった

3

- 症状が強かった
- **身の回りの日常生活動作に支障**があった

生活指導

- 皮膚を清潔にする
- 保湿を行う

- 保湿剤でのケアの継続
- ステロイドの処方があれば使用を指導

- 保湿剤及びステロイド使用の指導
- 既に使用しているステロイドで効果不十分ば場合はランクアップの提案
- 生活指導

- 保湿剤及びステロイド使用の指導、ステロイドのランクアップの提案
- 生活指導
- **症状に応じて受診勧奨・病院への連絡**

□ 倦怠感

だるさや疲れた感覚はありましたか？

なし

経過観察

あり

Grade

1

- 休めば良くなった
- 普段の生活に支障はなかった

2

- 休んでも良くならなかった
- 横になることが多かった
- 身の回り以外の日常生活動作に支障があった (趣味や外出など)

3

- ほとんど動くことができなかった
- 身の回りの日常生活動作に支障があった

生活指導

- 症状のパターンを把握する
- 休息をとり、楽な姿勢で休む
- 体調が許す範囲で運動やマッサージを行う
- リラクゼーションや気分転換を行う

食事指導

- 料理に手間をかけない
(冷凍食品、弁当などの利用)
- 栄養補助食品の利用

- 食事指導
- 水分摂取の励行

- 食事指導
- 水分摂取の励行
- 受診勧奨・病院への連絡